

樽川中じむ

2009年11月No.3
樽川中学校
保護者向事務便り
編集責任者
樽川中学校事務職員

本格的な雪となりました。インフルエンザも含め、風邪など体調には十分にご注意ください。

さて、石狩市では、各学校の次年度の予算要望について、市の教頭会が中心となって予算要望委員会を組織し、そこで各小中学校の要望をとりまとめ、教育委員会に提出しています。過日、市教委による現地調査とヒアリングがありましたので、その様子をお知らせします。

樽川中の予算要望のポイント

1. 職員玄関のドア交換

職員玄関のドアはご存じの通りオートロックになっていて、来訪者がインターホンで呼んでくれると、職員室のスイッチで開けることができます。私の印象では2001年の附属池田小学校事件以降、オートロックが急速に広まったように思います。さらに、東京都などでは監視カメラもほとんどの学校で設置されているようです。プライバシーと安全の折り合いの付け方が難しそうですね。

さて、ドアが時々自動で閉まらなくなるので、専門業者にみてもらったところ、長年の使用で「ゆがみ」が発生しているようです。ゆがみの原因には、生徒の登下校や外学習の際の出入りの回数が多すぎるとの考えもあるようです。市教委の話では、生徒が原則職員玄関を利用しないように、生徒玄関との間に「仕切り」を作った学校もあるそうです。本校でも、市教委から「仕切り」の提案があれば検討しなければなりません。

2. グラウンド散水栓の解放

本校グラウンドには、校舎と別系統の水道（散水栓）が設備さ

れています。ですが、この散水栓、一度栓を開けると多額の基本料がかかってしまい、市教委としては、校舎の水道を使ってほしいということで継続要望となっています。来年度こそ要望が通って、真夏でもグラウンドコンディションが保てるようになればいいと思います。

3. パソコン教室のエアコン設置

パソコン教室といえば大敵は「ホコリ」。ですから、夏でも窓を開けっ放しというわけにはいきません。そこで、エアコンの設置を要望したのですが、当初北海道でエアコンなんて・・・と思っていたのですが、市内でも南線小学校、緑苑台小、石狩中にはパソコン教室にエアコンが設置されているとのこと。でも、大規模改修の時でないとは設置は難しいようです。私事ですが、学生時代大阪に住んでおりました、エアコン設備会社でバイトをしておりました。今はわかりませんが、当時（30年前）は小学校でも、新幹線や高速道路側の教室にはエアコンが設置されていました。そのフィルター清掃をしていると子どもたちに「おっちゃん、たのむで！」と声をかけられたものです。

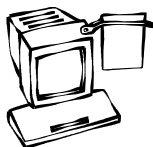
4. 理科室暗幕（遮光カーテン）

「月や地球の模型に光を当てると、暗闇の理科室に三日月が浮かび上がる」そんな小学生の頃の記憶はありませんか。このように、理科室は実験内容によっては室内を暗くする必要があります。しかし本校の理科室は普通教室のカーテンと同じもので、遮光が十分ではありません。理科の先生に言われるまで、私も気づきませんでした。過去の経験ではどの学校の理科室にも遮光カーテン（又は暗幕）はありました。

5. 屋外器具庫（ガレージ）の設置

本校のグラウンドには、4つの物置があり、部活動や体育の用具が保管されています。どのような財源で設置されたかはよくわかりません。テニスコートの横には、自動車用のガレージとコンテナが置かれていて、これが器具庫代わりです。どなたかが寄付してくださったものなのかははっきりわかりません。しかし、鍵がこわれたりしても、学校備品でないため、市費での

修理はできないのです。ガレージのシャッターは既にぼろぼろ、コンテナのドアも大変閉まりづらい状況です。そこで、カスケードガレージで有名な江別市の日江金属さんに、車2台入るタイプのガレージを見積もっていただきました。結果は、ガレージ本体は約70万円なのですが、基礎工事が約100万円。さらに、基礎工事となると、教育委員会として建築審査も必要とのことで、結構大げさな話になってしまいました。でも、長い目で見るとどうしても必要になるものですから、来年は無理でも早急に実現してもらいたいものです。



その他の要望事項をダイジェストで

体育館のワックスがけ・・・・・・・・教室や廊下のワックスは、夏春休みに職員で行っています。でも、体育館は技術的な問題もあり、行っていません。専門業者によるワックスがけを希望しています。

グラウンド土の入れ替え又は土の補充・・・・・・・・樽中グラウンドは「暗渠（あんきょ：地中の排水路のこと）」が設置されていない（簡易の排水設備はあります）ので、雨には強くありません。本当は、土を全部入れ替えて、暗渠を作ってほしいのですが、そうすると数千万円の工事になるのではないのでしょうか・・・

体育館の照明スイッチを屋体放送室にもつくってほしい・・・・・・・・この意味おわかりでしょうか。例えば、樽翔祭（学校祭）で、体育館を暗転（真っ暗にする）するときなど、天井の照明スイッチが出入り口付近にしかないので、放送や舞台照明とのタイミングあわせが難しいのです。担当の生徒は、このタイミングを「決める」ために何度も練習を重ねます。このスイッチも、最近の校舎であればまず間違いなく屋体放送室の中にあると思うのですが・・・

新学習指導要領への対応にかかわって

中学校では、平成23年度から新しい学習指導要領による教育課程がスタートします。学校予算に大きくかかわることでは、

①体育で柔道や相撲などの「格技」を行う、②技術家庭科で「栽培」を行う、の2点があげられます。本校では、柔道を行うこととし、柔道着を予算要望しました。また、栽培のための学校菜園を作ってもらうことも要望しています。市教委としても、できるだけ保護者の負担にならないよう、各学校の意見を聞いて検討するとのことでした。

以上、全てではないですが、来年度へ向けた樽川中学校の予算要望についてのご紹介でした。

これからも、学校環境について「樽川中じむ」でご紹介をしていきたいと思いますが、保護者の皆様も学校の施設や校舎周辺の環境などでお気づきの点などありましたら、ご意見をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

冬休み中に、生徒の机・椅子が新しくなります。

少し前に、ニュース等で話題になっていました、「国の補正予算」で、樽川中学校の普通教室の生徒用机・椅子が全て新品に交換されます。新しい机は、面の大きさがたてよこそれぞれ5cm大きくなります。壊れにくくなる分、少し重くなるようです。石狩市では、いくつかの小学校でこの大きい規格の机が配置されていますが、それ以外の小学校と全ての中学校で入れ替えが行われます（一部教室が狭くて交換できない学年のある小学校があります）。生徒のけがの原因となっていた椅子の座板のささくれは、これで解消されそうです。でも、大きくなる分、ちょっと教室が窮屈になるかもしれません。

同じ補正予算で、**電子黒板1台、地上デジタル放送対応テレビ12台**、そして、職員室に**職員数分のパソコン**も導入予定です。職員室と教室が「LAN（ラン）」という仕組みでつながり、教室でもインターネットが使えるようになる予定ですが、教室用のパソコンは配置されないで、生徒がいつでもインターネット使えるということにはならないでしょう。導入後の様子は、後日「樽川中じむ」でお知らせしたいと思います。